

別添1

R6札幌市子宮がん検診未受診者対策事業(HPV自己採取検査)について

目的と事業内容

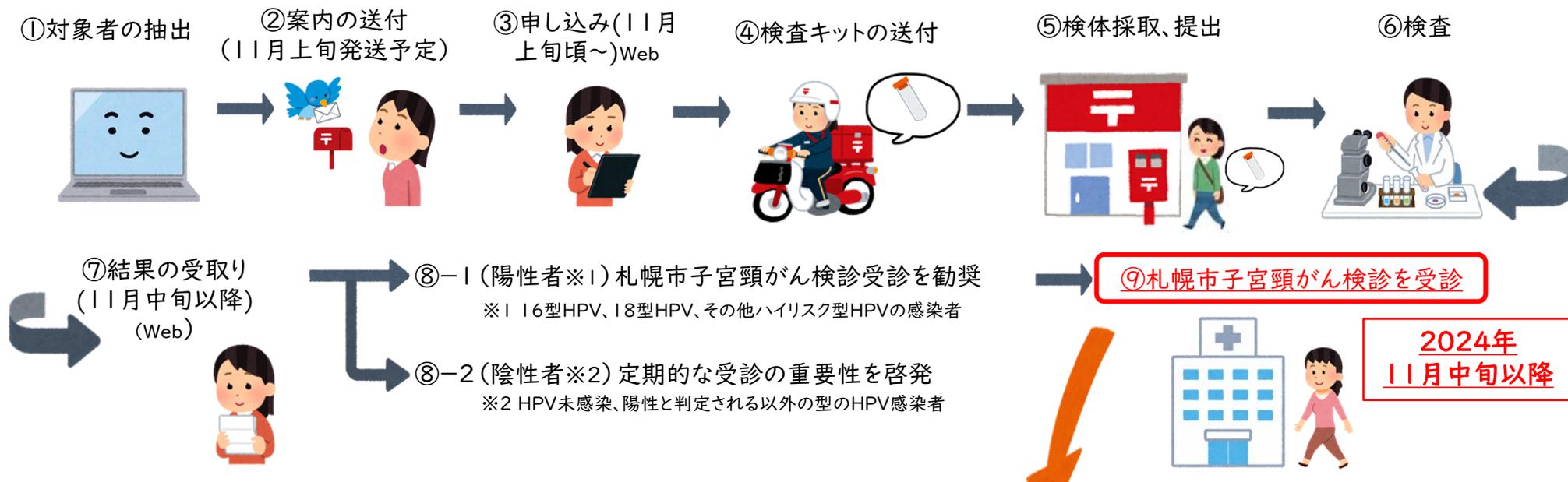
女性特有のがん対策の推進を目的として、札幌市子宮がん検診の未受診者を対象に自宅で検体を採取してHPV感染の有無を確認できる検査を実施します。
陽性者には札幌市子宮がん検診の受診を案内し、陰性者には継続受診の重要性の啓発を行うことでがんの早期発見、早期治療につなげていきます。

対象者

右の条件を全て満たす女性

- ・札幌市内に住民票を有する
- ・実施する年度(令和6年度)の4月1日時点で25歳
- ・過去3年間(令和3年4月1日~令和6年3月31日まで)、札幌市子宮がん検診の受診歴がない
- ・妊娠期間中でない
- ・子宮全的手術歴がない
- ・ミレーナ(避妊リング)を装着していない
- ・子宮頸がんについて医師の診察・治療を受けていない

検査の流れ



①~⑧: 「HPV自己採取検査」部分になり、札幌市が実施いたします。

⑨: 各検診機関で札幌市子宮がん検診の実施をお願いする部分です。詳細は別添2をご覧ください。

ご依頼「別添2」

別添2

札幌市子宮がん検診実施機関へのご依頼

ご依頼事項

自己採取検査で陽性となり、札幌市から子宮がん検診の受診を案内された方から予約申し込みがありましたら受けていただき、「札幌市子宮がん検診(医療機関委託)実施要領」により検査を実施いただくようお願いいたします。

検査を実施したら、通常のがん検診と同様に「子宮がん検診票兼請求明細書」によりご報告ください。

要精密検査になった方については、「子宮がん検診精検結果連絡票」によるご報告をお願いいたします。

今回の検査は、札幌市子宮がん検診を受診された方の精検結果までフォローして今後の子宮がん検診対策のための資料といたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

・参考 HPV自己採取検査による陽性、陰性の区分および検査対象者数の想定は以下のとおりです。

陽性、陰性の区分

陽性	16型HPV、18型HPV、その他ハイリスク型HPVの感染	→ 速やかな札幌市子宮がん検診の受診を勧奨する
陰性	HPV未感染、陽性と判断する以外の型のHPVの感染	→ (職域検診、札幌市がん検診等の) 定期受診を啓発する

対象者数(想定)

今回の検査は「25歳」で「過去3年度札幌市子宮がん検診の受診歴がない方」を対象としています。
この検査を通じて札幌市子宮がん検診を受診する人数の想定は以下のとおりです。



検診機関に実施していただくのは通常の「札幌市子宮がん検診」ですが、各医療機関にお配りしている「札幌市子宮がん検診(医療機関委託)実施要領」とは対象者の要件が異なりますのでご注意願います。

注意事項「別添3」

○ 注意事項「通常の札幌市子宮がん検診とは対象者の要件が異なります」

通常の札幌市子宮がん検診の対象者 (札幌市内に居住する方のうち、以下の要件を満たす方)	
年 齢	受診日当日に20歳以上で、原則偶数年齢の方
受 診 間 隔	2年に1回
他の検診制度との連携	以下の方は要件を満たさない ・職場等で受診する機会がある方 ・妊婦一般健診を受診された方

今回の事業による
札幌市子宮がん検診の対象者

札幌市が実施するHPV自己採取検査で陽性の結果を受けた方

左記の受診要件に関わらず札幌市子宮がん検診の対象になります。(ただし、受診日に札幌市内に居住していること)



対象者にはメールにより陽性の結果が記載された「HPV検査結果」を送付するとともに、以下の方法で予約、受診をするよう案内いたします

- ① 「札幌市子宮がん検診実施医療機関」から受診先を選んで予約してください。
- ② 予約の際、「札幌市の子宮がん検診を受診したい」と「HPV自己採取検査で陽性の判定を受けた」ことを病院に伝えてください。
- ③ 受診の際には本人確認書類と「HPV検査結果」を持参して受付に提示してください。

上記により予約した方が来院した際には、受付で通常の本人確認書類(氏名、年齢、札幌市在住が確認できる書類)に加えて、陽性の結果が記載された「HPV検査結果(※)」をご確認ください。※メール画面(別添3-2参照)

○ 注意事項(その他)

1. 子宮体部の検診についても通常の札幌市子宮がん検診の取扱いになります。
2. 自己負担額は通常の子宮がん検診と同額です。
3. 費用負担免除の要件を満たしている方の自己負担額は0円です。
4. 次回以降は通常の子宮がん検診になり、対象者の要件も戻ります。
5. 「HPV検査結果」を確認できない場合も、予約名と本人確認書類で本人が確認できればそのまま実施してください(口頭確認可)。
6. 今回のHPV自己採取検査は市外に居住していても住民票が札幌市にある場合は対象になります。ただし、その方が陽性となった場合は、札幌市子宮がん検診は受診することができません(札幌市がん検診は市内居住者を対象としているため)。
居住地の自治体のがん検診や職域検診の受診を勧奨してください。

○HPV検査結果の通知イメージ(HPV陽性の場合)

※内容は変更する可能性があります。

【WEB画面見本】

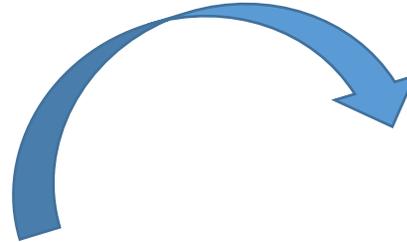
検体受領日時：2024年10月10日(木) 12:14
検査完了日時：2024年10月10日(木) 12:25
検査機関名：
検査方法：PCR法
HPV検査結果：あなたのHPV感染は **陽性** です。

HPV型	検査結果
16型判定	陽性 (+)
18型判定	陽性 (+)
その他ハイリスク型判定	陰性 (-)

※ その他ハイリスク型判定は、次の12種 (HPV 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 66, 68 型) を判定しています。

検査結果について：

- +：陽性、ウイルスが検出されました。
- ：陰性、ウイルスは検出されていません。



【検査結果コメント】

今回の検査で子宮頸がんの原因であるHPVの感染が認められました。
今回感染している16型HPVと18型HPVは、持続的に感染すると子宮頸がんへの発症が高いHPVです。
気になる症状の有無に関わらず、すぐに婦人科を受診し細胞診検査などの医師による適切な診療を受けてください。

HPV検査とは

HPV検査は「今現在HPVに感染しているかどうか」を調べる検査です。
現在がん細胞または前がん細胞があるかどうかは分かりません。気になる症状があるなど自己採取HPV検査で不安な方は、医師採取による細胞診検査を受けましょう。
子宮頸がんは治療効果の高い疾患でもありますが、発見が遅くなってしまうと負担の大きな手術をうけなければならないなど、それまでの生活にも変化を及ぼす可能性がある疾患です。何か気になる症状（不正出血など）がある場合は、早目に専門医に相談しましょう。
今回感染していない方も、次回は医師採取による子宮頸がん検診をお勧めします。

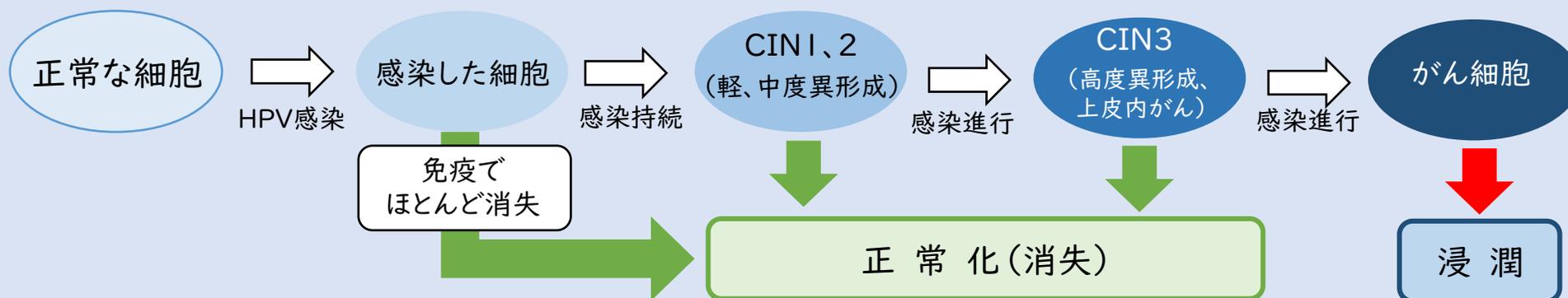
HPV(ヒトパピローマウイルス)について

主に性的接触を原因として感染する一般的なウイルスで、女性であれば50%以上が生涯のうちに感染するとされています。子宮頸がんを始め、肛門がん、膣がんなどのがんや尖圭コンジローマ等多くの病気に関係していると言われています。

200以上の種類があると言われており、このうち少なくとも15種類が子宮頸がんの患者から検出され「ハイリスク型HPV」と呼ばれています。

感染しても多くの場合は免疫の作用で自然に排除されるとされています。しかし、数年から数十年にわたって持続的に感染する一部のケースについて、がんになることがあると報告されています。

ハイリスク型HPVの感染から子宮頸がん罹患への流れ



今回の検査でリスクの高いHPVの感染が認められた方(陽性判定になった方)には、速やかに通常の子宮がん検診を受診していただき、必要に応じて精密検査まで受診していただくことが早期発見と早期治療のために重要となります。

このことから札幌市では今回の検査で陽性となった方に速やかにがん検診を受診していただくため、札幌市子宮がん検診の受診勧奨を行うものです。

ご協力をよろしくお願いいたします。